

科目名	実習Ⅱ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースメンズ専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	180	作成者	酒井 知可子
【科目の到達目標】 レディースウェアの基本アイテムであるジャケット(チェック柄テーラードカラー)、コート(ラグランスリーブ・フライフロント)、カットソー、部分縫い等により作品の構造を理解し縫製知識と技術を習得する。			
【科目の概要】 ファッション業界において商品企画する為に洋服の構造を理解することは不可欠である。 企画を立てるにあたっての必要な縫製技術と知識への理解を深める。			
【授業計画】 90分/コマ		前期 後期	
1・2	ラグランスリーブコートの製図/部分縫いポケット	31・32	カットソー裁断
3・4	ラグランスリーブコートの製図/部分縫いポケット	33・34	カットソー縫製
5・6	ラグランスリーブコートの裁断/部分縫いポケット	35・36	部分縫い 薄物始末
7・8	ラグランスリーブコートの裁断	37・38	部分縫い 薄物始末
9・10	ラグランスリーブコートの縫製	39・40	チェックテーラードジャケット製図トレース
11・12	ラグランスリーブコートの縫製	41・42	チェックテーラードジャケット縫い代付け
13・14	ラグランスリーブコートの縫製	43・44	チェックテーラードジャケット裁断
15・16	ラグランスリーブコートの縫製	45・46	チェックテーラードジャケット裁断
17・18	ラグランスリーブコートの縫製	47・48	チェックテーラードジャケット裁断
19・20	ラグランスリーブコートの縫製	49・50	チェックテーラードジャケット芯地説明～裁断
21・22	ラグランスリーブコートの縫製	51・52	チェックテーラードジャケット芯据え
23・24	ラグランスリーブコートの縫製	53・54	チェックテーラードジャケット芯据え
25・26	ラグランスリーブコートの縫製	55・56	チェックテーラードジャケット芯据え
27・28	ラグランスリーブコートの縫製	57・58	チェックテーラードジャケット芯据え
29・30	まとめ	59・60	チェックテーラードジャケット縫製
		61・62	チェックテーラードジャケット縫製
		63・64	チェックテーラードジャケット縫製
		65・66	チェックテーラードジャケット縫製
		67・68	チェックテーラードジャケット縫製
		69・70	チェックテーラードジャケット縫製
		71・72	チェックテーラードジャケット縫製
		73・74	チェックテーラードジャケット縫製
		75・76	チェックテーラードジャケット縫製
		77・78	チェックテーラードジャケット縫製
		79・80	チェックテーラードジャケット縫製
		81・82	チェックテーラードジャケット縫製
		83・84	チェックテーラードジャケット縫製
		85・86	チェックテーラードジャケット縫製
		87・88	チェックテーラードジャケット縫製
		89・90	まとめ
【成績評価方法】 提出物評価60% テスト30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】 『ジャケット』『コート』『テーラリングテクニック』上田安子服飾専門学校最新版 教員作成のオリジナルプリント			
【教材・教具】 筆記用具・ミシン等縫製機器・洋裁道具一式 実物又は部分縫いの見本			

科目名	クリエイションテクニック	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースメンズ専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義20 % 実習80%
時間数	90	作成者	酒井知可子

【科目の到達目標】

レディスウエアの基本アイテムであるシャツ、パンツにより作品の構造を理解し、縫製知識と技術を習得する。また、創作作品ではコースの特色を活かしたデザインで効率の良い縫製を考えて製作する。

【科目の概要】

ファッション業界において商品企画をする為に洋服の構造を理解することは不可欠である。
企画を立てるにあたっての必要な縫製技術と知識への理解を深める。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1・2	シャツの芯貼り、縫製	1	創作作品（又は上田学園コレクション作品）の製図
3・4	シャツの縫製	2	
5・6	シャツの縫製	3	創作作品 トワール仮縫い
7・8	シャツのデザイン製作	4	
9・10	シャツのデザイン製作	5	創作作品 裁断
11・12	シャツのデザイン製作、仕上げ、提出	6	創作作品 縫製
13・14	パンツのトワール仮縫い準備・仮縫い	7	↓
15・16	パンツの仮縫い・補正	8	↓
17・18	パンツの縫い代付きパターン作成	9	↓（上田学園コレクション作品仕上げ）
19・20	パンツの裁断・縫製	10	↓
21・22	パンツの裁断・縫製	11	↓
23・24	パンツの縫製	12	↓
25・26	パンツの縫製	13	↓
27・28	パンツの縫製、仕上げ	14	↓
29・30	提出	15	提出

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『ブラウス』『パンツ』 配布プリント

【教材・教具】

筆記用具・洋裁道具一式・製図用具一式

科目名	パターンメイキングⅡ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースメンズ専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義20% 実習 80%
時間数	120	作成者	大沢 妙

【科目の到達目標】

理論を技術に結びつける。アイテムのパターンをデザイン画を見て表現できるようになる

【科目の概要】

時代のデジタル化に伴い、ファッション業界におけるパターン分野では3DやCADの多様化が進んでいる。しかしパターンの基礎・応用が確立した上でのデジタル化が必要不可欠である。この科目では原型から平面パターンを作り、トワールを組み立て立体としての確認を行い、さらに工業パターンに仕上げるための技術を学ぶ。

【授業計画】

前期		後期	
90分/コマ			
1	(1/2)バギー・ベルボトム	31	ジーンズ 製図(30インチ)
2	(1/2)ペグトップパンツ・フレアーパンツ	32	パーツパターン抜き出し
3	スラックス原型作成(自分サイズ)	33	工業用パターン 作成
4	デザインパンツ 製図	34	
5	トワール組み(両身) 着用してグループ検討会	35	トワール組み(両身ミシン縫い)
6		36	
7		37	
8		38	
9	メンズ スラックス 製図	39	ショールカラー 実寸製図
10	袖のバリエーション(実寸)	40	ショールカラー チップパターン 見返し展開
11	タック・フレアー・ランタン	41	トワール準備
12	ペタル・ジゴ	42	地襟芯貼り(テープ貼り省略)
13	ラグランスリーブコート 製図 実寸 (台襟切替ステンカラーの形の検証)	43	ショールカラー 部分縫い(腰丈まで)
14		44	
15		45	(1/2)身頃続きの袖(マチ)三角マチ、ひし形マチ、五角マチ
16		46	実寸 半袖5角マチ トワール組み(角つくり) (半身ミシン縫い)
17	" トワール組(半身ピン打ち)	47	
18		48	
19	子供服原型 子供ワンピース 製図	49	テーラードJK2枚袖 作図 囲み製図の方法
20		50	マニプレーション
21	トワール組み(両身ミシン縫い)	51	" トワール組(半身ピン打ち)
22		52	
23	ファンデーション	53	表襟、見返しの展開について
24		54	
25	トワール組み(両身ミシン縫い)	55	ポケットの作図について復習(両玉縁ポケット)
26		56	
27	Tシャツ 製図(後期実習授業にて作成)	57	裏地(総裏)作図について ・工業用パターン作成
28	縫い代付きパターン・仕様書作成	58	
29	まとめ	59	まとめ
30		60	

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布 服飾手帖社『パターンメイキングⅡ』
山路俊美 『メンズ製図集抜粋』

【教材・教具】

筆記用具、製図用具、模造紙、製図用シャープペンシル カッター、メンディングテープ、ドラフトテープ
トワール、シルクピン、ミシン用具、鋏

科目名	パターンメイキングⅠ(メンズ)	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースメンズ専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	相宅 扶美

【科目の到達目標】

プレタポルテのデザイン、パターン、カッティング、ソーイングの一貫した理論、知識と技術を習得する。

【科目の概要】

ファッション・デザイン物は高度な基本テクニックが伴って粹で高度な機能美を自らの手で作り上げる。
 アパレルの服作りに欠かす事のできない、創作デザインパターン・カッティング・ソーイングの一貫した理論・知識と技術を習得。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	紳士服関連説明概論	31・32	ジャケット
2	スラックス	33・34	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)
3・4	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)	35・36	
5・6		37・38	
7・8	ジーンズ	39・40	ハーフブルゾン
9・10	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)	41・42	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)
11・12		43・44	
13・14	グルガシヨーツ	45・46	ショートコート
15・16	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)	47・48	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)
17・18		49・50	
19・20	ワイシャツ	51・52	スポーティラグラン
21・22	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)	53・54	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)
23・24		55・56	
25・26	ベスト	57・58	オーバーオールス
27・28	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)	59・60	製図・パーツパターン・(トワール仮縫い)
29・30			

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	ドレーピングⅠ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターコースメンズ専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	上田安子パターン担当
【科目の到達目標】 ボディ上でゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作り、およびこれを平面パターンに出来る。			
【科目の概要】 立体製図(ドレーピング)技術を習得することで、今日アパレルメーカーで求められるスピード感や、新しい素材や難しいデザインに対応出来るスキルを獲得する。凸凹のある女性の体(ボディ)に布地(トワール)を合わせてゆとりやシルエットを確認し、デザインを創作しながらパターンを作る技術、およびこれを平面パターンにする方法を学ぶ。			
【授業計画】 90分/コマ			
1, 2 「ドレーピング概論」 ボディ、トワールの扱い方の講義 3, 4 ショルダーカット(ダーツ) 5, 6 アームホールカット(ダーツ) 7, 8 サイドカット(ダーツ) 9, 10 ウエストカット(ダーツ) 11 ステンカラー カットで作った身頃を使用 12 ピーターパンカラー カットで作った身頃を使用 13 台襟付きシャツカラー カットで作った身頃を使用 14 開襟シャツカラー カットで作った身頃を使用 15, 16 タイトスカート 17 タイトスカートのパターンどり 18 フレアースカートの製作 19, 20 ブラウス シャツカラー(ショルダー切替) 21, 22 シャツカラー(上記のブラウス) 23, 24 一枚袖(上記のブラウス) 25, 26 身頃の復習(ダーツ) 27, 28 まとめ 29, 30 前期試験			
【成績評価方法】 課題作品の評価 60% 期末試験 30%・・・評価シートによる 授業研究態度 10%			
【教科書・参考書】 ドレーピング教科書 オリジナルプリント			
【教材・教具】 トワール、シルクピン、黒綿テープ、アイシーテープ、はさみ、メンディングテープ、カッター、製図道具、模造紙、製図用シャープペンシル			

科目名	ファッションドローイングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースメンズ専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	大槻 剛

【科目の到達目標】

通年受業の終了時に、アパレルやコスチューム業界への就職対応のドローイング表現ができる。

【科目の概要】

アパレルやコスチューム業界で絶対必要なデザイン画を描く授業です。授業内容は、教科書や配布するプリントを使用し、そして黒板を使って重要ポイントを説明します。その後、各学生がデザイン画表現を行います。製作するデザイン画は、鉛筆描きや画材を使用しての着色など様々な表現を学びます。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	ヌードボディの表現	16	画材表現(ガッシュ)
2	ヌードボディの表現	17	画材表現
3	顔、ヘアスタイル、足、靴の表現	18	画材表現(マーカー)
4	顔、ヘアスタイル、足、靴の表現	19	画材表現
5	着装表現①(男性的ディテール表現)	20	画材表現(パステル)
6	着装表現①(男性的ディテール表現)	21	画材表現
7	着装表現②(女性的ディテール表現)	22	アイテム画の表現(ボトムス)
8	着装表現②(女性的ディテール表現)	23	アイテム画の表現
9	着装表現③(その他応用表現)	24	アイテム画の表現(トップス)
10	着装表現③(その他応用表現)	25	アイテム画の表現
11	デザイン画選手権の作品制作(ラフ)	26	メンズ表現
12	デザイン画選手権の作品制作(下絵)	27	メンズ表現
13	デザイン画選手権の作品制作(下絵)	28	キッズ表現
14	デザイン画選手権の作品制作(着色)	29	キッズ表現
15	デザイン画選手権の作品制作(着色)	30	期末テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布

【教材・教具】

筆記用具

科目名	ファッションデザイン論Ⅱ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	ファッションクリエイターコースメンズ専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	120	作成者	佐山 孝典
【科目の到達目標】			
本授業ではアパレル商品企画・基礎知識を身に付け、自ら企画を立ててニーズに合った企画提案ができ、デザインを考える能力の向上や感性を身につけることを目標とする。			
【科目の概要】			
アパレル産業におけるデザイン・商品企画に必要な知識と技術を学んでいく。 デザインするにあたって基本的な仕組みや原理を学び、洋服のデザインに応用する。 素材の特性を知り、テキスタイルを中心にアパレルデザインを考え企画書としてプレゼンする。			
【授業計画】			
90分/コマ	前期	後期	
1・2	プレタ展 シャツデザイン①	31・32	企業デザイナーの仕事とクリエイション
3・4	プレタ展 シャツデザイン②	33・34	デザインとテキスタイル①
5・6	プレタ展 シャツデザイン③	35・36	デザインとテキスタイル②
7・8	デザイン演習① ブランドコンセプト	37・38	上田学園プレタポルテ展示会企画①
9・10	デザイン演習② シーズンコンセプト	39・40	上田学園プレタポルテ展示会企画②
11・12	デザイン演習③ ブランド研究・リサーチ	41・42	上田学園プレタポルテ展示会企画③
13・14	デザイン演習④ デザイニング	43・44	上田学園プレタポルテ展示会企画プレゼン
15・16	デザイン発想①	45・46	企業マップ①
17・18	デザイン発想②	47・48	企業マップ②
19・20	デザイン発想③	49・50	企業マップ③
21・22	ブランド企画	51・52	企業プレゼン
23・24	ブランド企画	53・54	クリテクマップ①
25・26	ブランド企画	55・56	クリテクマップ②
27・28	上田学園コレクションデザイン	57・58	クリテクマップ③
29・30	上田学園コレクションデザイン	59・60	プレタデザイン・打ち合わせ
【成績評価方法】			
課題60% 試験30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】 『ファッションニュース』株式会社INFASパブリケーション Simon Seivewright『ファッションデザイン・リサーチ』株式会社ビー・エヌ・エヌ新社2011年 Robert Leach『FASHION DESIGN RESOURCE』株式会社ビー・エヌ・エヌ新社2013年			
【教材・教具】			
筆記用具 専用ノート 参考プリント 画材 ファッション週刊誌WWDジャパン			

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターコースメンズ専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100 % 実習 %
時間数	30	作成者	河本 育子

【科目の到達目標】

市場動向を読み取り、デザインにあった素材選びのできるスペシャリストを目指す。
 アパレル素材の役割を理解、繊維特性、布地の構造による機能の違いなど専門知識を修得する。

【科目の概要】

ユニクロのヒートテックに代表されるように、アパレルにおける素材の機能性はますます重要になってきている。
 講義を通じてさまざまな繊維の機能性、加工による付加価値を理解。さらに布地構造による基本特性を把握し、
 アパレル繊維知識の体系的理解を深めていく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 オリエンテーション
 ■アパレル製品の生産流通経路(1)
 繊維・糸・布地
- 2 ■アパレル製品の生産流通経路(2)
 メーカー、産地など
- 3 ■布地の種類
- 4 織物
- 5 編物
- 6 レース
 布地まとめ
- 7 ■家庭用品品質表示法 品質表示の見方
- 8 ■繊維の種類と特性
 天然繊維(植物繊維)
- 9 天然繊維(動物繊維)
- 10 化学繊維(再生繊維・半合成繊維)
- 11 化学繊維(合成繊維)
- 12 ■繊維の機能性
- 13 ■糸の種類と太さ
- 14 まとめ(テスト傾向と対策)
- 15 総合テスト

【成績評価方法】

提出物評価40% テスト50%(期末試験40%, 小テスト 10%) 授業態度10%

【教科書・参考書】

- ・一見 輝彦、『わかりやすいアパレル素材の知識』,ファッション教育社, 2012年
- ・田中道一、『生地の事典』,株式会社みずしま加工, 2013年

【教材・教具】

- ・筆記用具

科目名	服飾史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコースメンズ専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 90 % 実習 10 %
時間数	30	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

- ・時代背景や世界情勢によって影響を受け変化するトレンドの流れを理解する。
- ・時代によって生み出された技法やシルエット、ディテールの変遷を学び、服飾デザインの基礎知識を習得する。

【科目の概要】

服飾の起源から現代にまで繋がる服飾デザインの変換を図版、絵画、写真、映画などのヴィジュアル資料から学んでゆく。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 ガイダンス【導入】現代の情勢と服飾トレンドの変化
- 2 古代ローマ～ビザンチン時代
- 3 ルネサンスの始まり
- 4 バロック時代:エリザベス I 世
- 5 ロココ時代:マリーアントワネット:革命と失脚
- 6 ナポレオンの登場と19世紀ドレスの変容
- 7 復習・小テスト
- 8 オートクチュールの始まり :ウォルト・ポールポワレ・シャネル
- 9 19～20世紀 フランス :オートクチュールからプレタポルテ
- 10 19～20世紀 :イタリア:GUCCIとハイブランドの変遷
- 11 19～20世紀 :ロンドン:パンクムーブメント
- 12 19～20世紀 :アメリカ:ストリートとカウンターカルチャー
- 13 20世紀 :日本国内のトレンド:DCブランド～KAWAIIカルチャー
- 14 まとめ・復習
- 15 テスト

【成績評価方法】

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

教科書『西洋服飾史』 小松松茂著 平成19年 改訂新版 服飾手帖社

【教材・教具】

プリント・スライド

科目名	コンピュータ演習Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコースメンズ専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	30	作成者	林 和子

【科目の到達目標】

パソコンやネットワークを安全に、効果的に活用できる基礎的知識を身につける。Illustrator&Photoshopのデザインソフトの活用技術を修得し、ハンガーイラストやデザイン画、イメージマップなどを駆使しポートフォリオが作成できる。
アパレルCADを利用したパターンを作図する方法を理解する。

【科目の概要】

情報化社会において情報をいかに円滑に利用するかがビジネス成功の大きな要因の一つとなっている。
このコンピュータ演習授業では様々な情報から役立つものを見つけ、価値を明確にし、
使いやすく加工して活用する一連の知識や技術を修得する。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 自己PRシート作成(写真を撮影し画像処理)
- 2 " ロゴマーク作成
- 3 ポートフォリオ作成 ポートフォリオの考え方(要素・機能・効果)
- 4 " スキャナーなどからの画像の取り込み方(画像解像度を理解する)
- 5 " レイアウトの基礎マップ作成 Photoshopを使った画像合成
- 6 " ハンガーイラストの描き方 Illustratorを使ったペンツールなどのテクニック
- 7 " デザイン画の着色方法 線画に着色、柄を作成し着彩する
- 8 " Photoshop作成画像をIllustratorでレイアウトしポートフォリオを完成する
- 9 タイトスカート パターン作成(Pattern Magic)
- 10 ハンガーイラスト作成(縫製仕様書)
- 11 CADタイトスカート2本ダーツ製図
- 12 表地工業用パターン作成 裏地工業用パターン作成
- 13 マーキング(Marker Magic) 仕様書指示書作成
- 14 まとめ
- 15 テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	ファッションビジネス論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	ファッションクリエイターコースメンズ専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	三谷和也
【科目の到達目標】 ファッションをビジネスの観点から検証、分析、これからの業界を多角的(メディア、AI等)に考えて行ける人材になる。			
【科目の概要】 世界から見た日本のファッション業界のあり方。これから目指さなければならないファッションビジネスの形。 アパレル業界で知っておかなければならない常識。			
【授業計画】 90分/コマ		後期	
1	アパレルにおける仕事の流れ。		
2	仕事の種類		
3	ビジネス視点から見た日本のファッション業界		
4	テキスタイル産地の現状		
5	原料メーカー、専門商社、産地		
6	5大コレクションの話		
7	機能素材の話。機能ウェアの話実習		
8	ニットの話		
9	今年のマイトレンド分析(プレゼンテーション)		
10	日本のファッション史		
11	VMDの話 A4に実習		
12	ブランド作成、ブレインストーミング		
13	音楽とファッションのコラボレーション		
14	デニムの知識		
15	アイテム別コスト出し(テスト)		
【成績評価方法】 提出物評価30% テスト30% プレゼンテーション20% 授業態度20%			
【教科書・参考書】 プリントを配布 (よくわかるアパレル業界) 椎塚 武署 ファッション業界戦略地図 ファッション蘊蓄辞典			
筆記用具			

科目名	キャリアデザイン	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	ファッションクリエイターコースメンズ専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 80 % 実習 20 %
時間数	30	作成者	大槻 剛

【科目の到達目標】

クリエイター学科が目指す卒業後の進路・就職先の獲得と卒業後のスキルアップの方法を修得。

【科目の概要】

アパレル業界を中心とした川上・川中・川下の理解と社会人としての基本マナーの習得、就職活動の方法や面接、グループディスカッションの技術を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 就職先となる業界の現状把握(A先生)
- 2 就職活動までに準備すべき内容(B先生)
- 3 ポートフォリオの制作方法(B先生)
- 4 企業分析の方法と対策(C先生)
- 5 インターンシップの活用方法(C先生)
- 6 エントリーシートの記入方法(C先生)
- 7 自己PRと志望動機のポイント(C先生)
- 8 個別面接対策(C先生)
- 9 グループディスカッション(C先生)
- 10 卒業後のスキルアップ(C先生)
- 11 社会人マナー①(D先生)
- 12 社会人マナー②(D先生)
- 13 社会人マナー③(D先生)
- 14 社会人マナー④(D先生)
- 15 キャリアサポートセンターの活用方法(A先生)

【成績評価方法】

提出物評価90% 授業態度10%

【教科書・参考書】

「キャリアテキスト」株式会社パーソナルヴィジョン研究所

【教材・教具】

筆記用具、参考プリント